

●健診と検診

■はじめに：

よく“けんしん”希望の問い合わせがあります。「けんしん」には「健診」と「検診」があります。多くの方はこの“けんしん”の意味を混同しています。健診は特定の疾患を見つけ出すものではないスクリーニング検査です。検診は〇〇検診などのように特定の臓器のがんを見つけ出すことを目的としています。

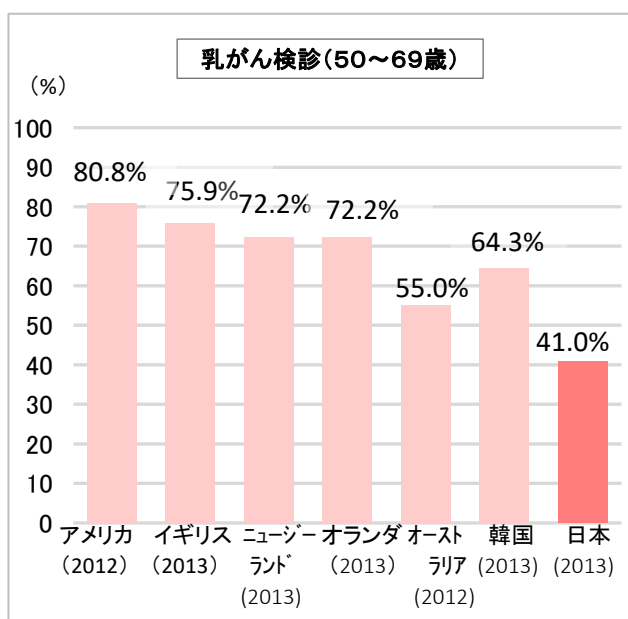
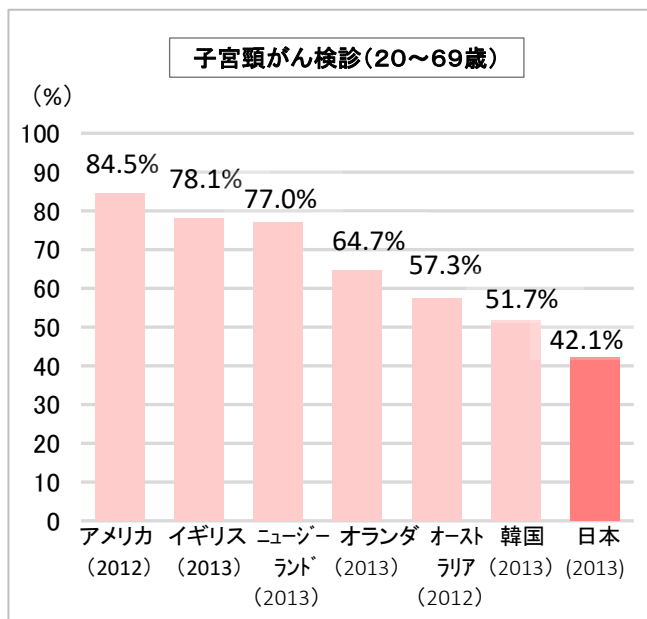
■健診：

健診は健康診断のことであり今現在症状はないが、一定の年齢に達したら会社や個人で健診を受けて、早いうちに生活習慣を改めたり、治療の是非の目安をつけることを目的としています。この健診には自費で行う人間ドックから自治体などで行う特定健診、健康診査などがあります。また通常の健診のほかには大学入試用、会社の雇い入れ用、個人健診、美容師・理容師・調理師届け出用など多岐にわたります。個人で行う健診の場合は検査項目によって料金が異なりますので、来院の上、ご確認ください。大事なことは健診の結果をどう解釈するかということです。結果が「要精査」の場合は検査結果を持参してかかりつけの先生に相談することをお勧めします。

■検診：

検診は「がん検診」のことで、必ず頭に検査する臓器の名前がつきます。特定の臓器のがんの診断を目的としています。胃、前立腺、肺、子宮、乳線、大腸などです。前立腺は採血、大腸は大便ですので簡単ですが、痛みや苦痛を伴う検査はどうしても敬遠され受診率が下がります。

■がん検診受診率の国際比較：Astellas Square 2018-19 12-1月号より引用しました。



■一言：

気になる症状があれば診察を受けなければなりません。症状がなくても健診や検診は必要です。高血圧や糖尿病などは初期のうちには痛くもかゆくもありません。高血圧と分かっている何年も放置している方や何年も健診を受けていない方もいます。適切な治療を受けて合併症を予防することが大事です。40 才になったら年に1回の健診を心がけましょう。また日本人の2人に1人はがんに罹患し、3人に1人は亡くなっています。がんは早期に発見し、治療することが重要です。年に1回健診と検診を受けましょう。